

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

社会系学部に行きたいと考えていて、社会システム学科の学び範囲の広さに惹かれました。オープンキャンパスに行き、学校の雰囲気も良かったので、志望校に決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

クラブ活動や学校の行事で家で十分に勉強する時間がとれなかったため、学校の授業を大切にしました。授業内で内容を理解するために、授業前に教科書を通り読みしておいて、授業中はノートをきれいに書き写すことと先生の話をよく聞くことを大事にしました。

〔夏休み〕

毎日昔年(旧)英語と古文の問題を解くようにしました。特に古文は問題集の問題を解いて、その後問題文をノートに書き写し、現代語訳をし、助詞や助動詞、古文語にマークをつけて一つ一つ覚えるように丁寧に勉強しました。また、夏休み中にオープンキャンパスでもあった同志社女子大学の過去問を一通り解いて問題の出題の傾向や形式を把握しておきました。

〔2学期～入試直前〕

毎日英語と世界史の問題を解くようにしました。世界史はセンター形式馬場の過去問や同志社女子大学の過去問を解いて、1問ずつ教科書や資料集や用語集で確認し、昔年(旧)単元を見つければ、その部分を一問一答の問題集で覚えるようにしました。英語は、長文問題を解いてから、一文ずつ本文と答の日本語訳を訳して、問題を解いていくと徐々に分かるようになって単語や文法を確認してました。塾で習うときは黙読でしてましたが、家で習うときは必ず声に出して読むようにしました。国語は得意だったので毎日はしませんでした。1週間4回くらい過去問を解いて金曜日以外は休んでました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校の行事やクラブ活動は一学期月までしかできなかったため、思い切り参加しました。その日は勉強する時間がとれないとわかってたので、1時間時間と2時間時間を無駄にしないように単語を覚えるのに有効に利用しました。健康面は夜遅くまで起きてると、次の日に必死の24時間には寝るためにしました。また、受験当日に力が出せないように、言式馬場が夕方5時半には必ず勉強しているようにしました。休憩中にスマートフォンを見て、勉強の休憩時間が長くなってしまったら、休憩時間を決めただけではなく、勉強を始める時間にタイマーをかけてメリハリをつけて勉強しました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私が受験で一番大切だと思ったことは、志望校への対策です。模試で良い判定が出ても合格するとは限らない、良い判定が出ても合格しないこともあり得る。諦めずに、焦らずに、努力することか合格への一番いい道だと思っています。